

教科	科 目	単位数	学年・クラス
芸術	美術 I	2	1 年 1 組・2 組

1 使用教材

使用教科書	美術 1
出版社	光村図書
副教材等	-
出版社	-

2 学習の目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。

3 評価の観点・方法

評価の観点	内 容
① 知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。また、創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。
② 思考・判断・表現	造形的な美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えることができ、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	観点別重要度			主な評価項目
	①	②	③	
授業態度	B	B	A	発言(発表)・忘れ物の有無 作品提出締め切り厳守
スケッチブック 成果物	A	A	B	内容・習作や完成作品・目標達成度
ワークシート	A	A	B	ユーモアや発想などの思考

※表中の A・B・C は評価の重要性を高い順に表している。

4 学習計画

学期	学 習 内 容	学習のねらい
1 学期	「高校美術って？」 ○美術は自由だ ・オリエンテーション 「日常にとけるアート」 ○彫刻(塑像)の技法 ・粘土による表現 ・モデリング ・カービング ・想像の世界 「色と形で伝える」 ・未咲輝ロードパネル	・「高校美術」を学ぶ意義について、今までの学びを生かしながら自分なりの考えを持つ。 ・彫刻の2つの技法を理解する。 ・石粉粘土や使用する道具に触れ、性質を理解する。 ・スケッチについて学び、様々な角度から対象物を観察した上で構想を練る。 ・習得した知識を生かして、主体的に表現方法を追求しようとしている。 ・文字や絵の配置や配色を工夫したり組み合わせたりして、自分なりの表現で未咲輝ロードのパネルを描き、通学路を彩る。
2 学期	「日常にとけるアート(後半)」 「特殊十二色相環」 「白と黒で描く世界」	・造形的な良さや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 ・作者の意図や視点の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める鑑賞活動に取り組む。 ・アクリル絵の具の特徴や色の性質を理解し、十二色相環を完成させる。 ・配色が生み出す効果を知り、自分が作りたいイメージに合った色の組み合わせを考える。 ・色彩図鑑を参考にして、自分が作りたい色のヒントを見つけ、表現や鑑賞活動に生かす。 ・鉛筆の種類や特徴を理解し、デッサン用の鉛筆を準備する。
3 学期	「高校美術って?～まとめ～」	・習得した知識をもとに、10段階グラデーションを完成させる。 ・ものの形や光の当たり方などに注目し、静物をよく観察して描いている。 ・タッチを変えることで異なる質感が表現できることを理解し、表現を工夫する。 ・これまでの学習を自分なりに振り返り、一年間で高校美術に対する考えがどのように変化したかを考察する。